

落札者決定基準

神戸市消防局映像配信系システム構築・運用保守業務

1. 基本的な考え方

落札者の決定にあたっては、提案内容を公正かつ客観的に評価し、本件に最適な事業者を選定するため、提案内容の評価（技術点）に入札書に記載された金額（以下、「入札価格」という。）の評価（価格点）を加算する総合評価方式を採用し、上限価格などの制限の範囲内において入札があった者のうち、総得点の最も高い入札者を落札者とする。

(1) 総合評価の方法及び落札者の決定方法

(2) 及び(3)で評価した技術点及び価格点の合計点数（以下、「総合評価点」という）が最も高い者を落札者とする。

技術点と価格点のバランスは、1対1とする。入札者の獲得する総合評価点は、技術点と価格点の単純な和となる。

$$\text{総合評価点 (1,000 点)} = \text{技術点 (500 点)} + \text{価格点 (500 点)}$$

(2) 提案内容の評価

提案内容の評価は、別に定める「提案書記載依頼事項及び評価項目一覧表（以下、「評価項目一覧」という）」に基づき提案内容の評価し、技術点を与える。

(3) 入札価格の評価

入札価格については、後に示す計算式に基づき入札価格に対する価格点を与える。

(4) 有効数字

技術点及び価格点の算出にあたっては、小数点以下1桁目で四捨五入する。

(5) 合計点数の最も高い者が2以上あるとき（同点のとき）の対応

入札者それぞれの技術、価格点異なる場合は、技術点が高い者を落札者とする。

2. 提案内容の評価

(1) 技術点について

技術点は、仕様書に示す要求事項を充足することを前提に、評価項目一覧に基づき提案書の内容を審査する。

ア. 評価項目の大分類の設定、配点

次のとおり評価項目の大分類を設定し、以下のように配点を設定する。

＜配点設定＞

1. 提案者について	: 127 点
2. 業務概要	: 51 点
3. 業務機能要件	: 71 点
4. 機器導入・ネットワーク設計要件	: 72 点
5. 非機能要件	: 63 点
6. 運用保守要件	: 62 点
7. その他	: 54 点
<hr/>	
合計	500 点

イ. 技術点の考え方

(ア) 評価項目一覧の「2 業務概要 (3) 提案する業務・サービスの持続性」及び「3 業務機能要件 (1) 機能要件への適合」を除く項目の採点

A 要件を完全に満たしていれば満点を付与する

B 要件を満たさない、もしくは、具体性・妥当性・実現性の低い提案は、満点より減点して評価する

C 記載のないものは0点とする

- ・ 特に課題があれば0点より減点する場合がある
- ・ 本業務に有益な提案があれば加点する場合がある

(イ) 「2 業務概要 (3) 提案する業務・サービスの持続性」についての採点

- ・ 各入札者の提案内容を比較する相対評価を行う
- ・ 各入札者の提案内容を比較し、順位ごとに配点する
- ・ 同順位の入札者は同点とし、次順位を飛ばす（例：1位が2社の場合、次は3位とする）

(ウ) 「3 業務機能要件 (1) 機能要件への適合」についての採点は、次のとおり。

「様式 10_機能要件回答書」に示す各機能項目について以下の基準でポイントを付与する。

A 要件を充足する場合「3P」とする

B 代替案により概ねの要件が充足できる場合「2P」とする

C 代替案が充分ではない場合「1P」とする

D 上記以外の提案や記述がない場合「0P」とする

合計ポイントに基づく A～D の4段階の評価ランクを決定し、評価ランク毎の点数の配点に基づく点数を付与する。A ランクの場合は、満点を配点し、D ランクの場合は0点とする。

(2) 落札者としない場合について

入札に参加するものが1者の場合も含め、技術点の合計が60%未満の場合には、落札者としない。

3. 入札価格の評価

価格点の点数算出式は、次のとおりとする。

$$\text{価格点} = (1 - \text{入札価格} / \text{上限価格}) \times 500$$

なお、本調達にかかる各年度の上限金額は次のとおり（消費税及び地方消費税相当額を除く）。

令和8年度	69,000 千円
令和9年度～令和13年度（5年間合計）	46,500 千円
	(各年度 9,300 千円)
総額	115,500 千円

※各年度のうち、いずれか上限金額を超過している場合は失格とする。

以上